

メディカルサポートプラザ うえだ

(旧上田市立産婦人科病院)

3階の新たな利活用について



共有ラウンジからの眺望

令和8年1月

上田市 健康こども未来部

地域医療政策室

1 3階の新たな活用にあたって（医療従事者確保等対策事業）

上田地域は県下でも医師及び看護師等が少なく、地域の医療体制を維持していくためには、医師及び看護師の確保・充実を図っていかねばなりません。

市では、これまで修学資金貸与制度の実施や看護専門学校への支援を行うなど医療従事者確保の取り組みを進めておりますが、今回、新たに医療従事者確保対策事業として、旧市立産婦人科病院時代に病棟として使用していた3階を改修し、医療関係者の滞在施設等として活用を図ることといたしました。

人と地域を結ぶ施設として、医療従事者を志す学生の皆さんが上田の地で学ぶ際に、より良い環境を提供できればと思っております。

併せて、近年頻発する災害に備えるため「災害時対応等拠点施設」としての活用も想定しており、市民が安心して暮らせるまちづくりを目指してまいります。

2 活用内容等について

(1) 医学生等滞在施設（10室）

- ・市内医療機関等で実務研修に参加している医療関係学部生（医学部、看護学部、歯学部、薬学部等）の滞在场所として貸し出し、より充実した研修環境を提供することで、卒業後、市内医療機関等への勤務を希望する学生増加につなげることを目的としています。

(2) 医師等臨時的滞在施設（2室）

- ・市内で勤務する医療従事者等が、急遽宿泊する必要が生じた際や、レスパイト（休息）利用などを想定し、当地域で従事しやすい環境を整えます。

(3) DMA T 備蓄庫及び災害時対応等拠点施設（3室）

- ・県から災害拠点病院に指定されている信州上田医療センターのDMA T 隊の出動及び待機場所並びに装備品保管庫として活用します。
- ・市内で災害等が発生した場合には、他地域から派遣されるDMA T 隊をはじめ、医師会や消防、行政等との情報共有や連携を図る医療拠点としての利用も想定しています。

① DMA T 事務エリア

災害時におけるDMA T 隊の活動拠点

② DMA T 備蓄庫

無線機や医薬品、食料品等の倉庫

(4) その他

③ 共有ラウンジ

3階利用者共同使用部分

④ 共有エリア

3階利用者共同使用部分

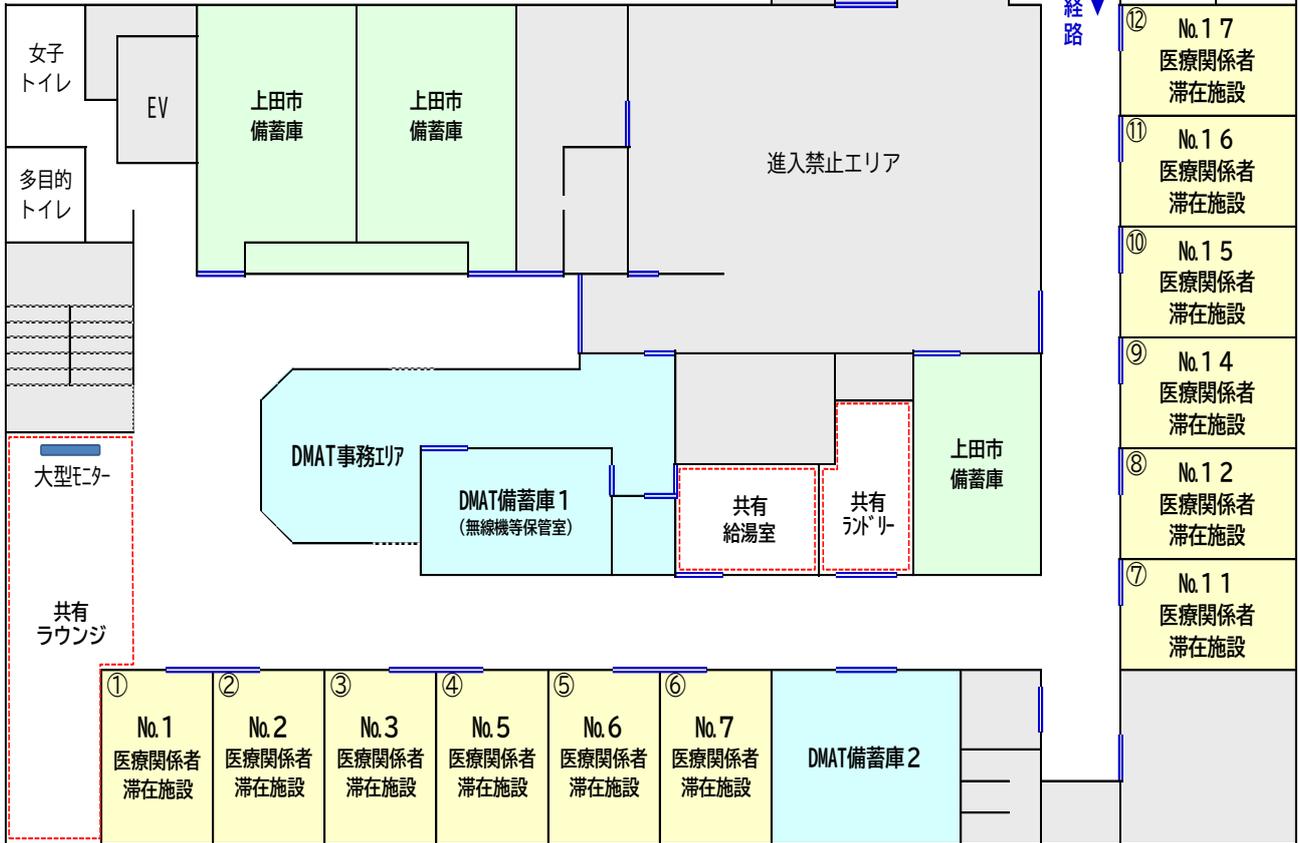
（給湯室、ランドリー）

⑤ 上田市備蓄庫

感染症対策及び緊急時対応用品の保管庫

メディカルサポートプラザうえだ 3階平面図

医療関係者滞在エリア	12室	全室、シャワー、トイレ、エアコン等完備
災害時対応等拠点エリア	3室	備蓄庫2室、災害時事務エリア
上田市備蓄エリア	3室	感染症対策等の備品備蓄
共有エリア		ラウンジ、給湯室、ランドリー室を設置



医療関係者滞在施設 (個室)



共有ラウンジ1



共有ラウンジ2



共有給湯室



共有ランドリー



DMAT事務エリア

3 メディカルサポートプラザうえだについて

本施設は、令和6年3月末まで上田市立産婦人科病院として使用していた施設で、その後の利活用については、市民にとって有益であるとともに、病院施設であることから地域医療に資する利活用となるよう関係機関等と検討・調整を行ってまいりました。

その結果、昨年8月には、主に診察室として使用していた2階に「上田市内科・小児科初期救急センター」を移転し診療環境等の充実を図るとともに、今回、病棟として使用していた3階を改修し、医療関係者の滞在施設等としての新たな活用を始めることとなりました。

そして、今回、3階の新たな活用開始を機に、新たな名称（通称）として、施設名を「**メディカルサポートプラザ うえだ**」とし、地域医療の充実に寄与し、その基本を支える施設として活用してまいりたいと考えております。

施設概要

- (1) 建築及び構造 平成23年度 鉄骨造3階建 延床面積3,033.30㎡
- (2) 各階の使用用途

3階	医療従事者確保等対策事業「医療関係者滞在エリア」、「災害時対応等拠点エリア」
2階	上田市内科・小児科初期救急センター「診察エリア」、地域医療政策室執務室
1階	上田市内科・小児科初期救急センター「正面玄関」、子育て支援施設「ゆりかご」※従前同様



建物外観



初期救急センター受付（2階）



初期救急センター診察室（2階）



子育て支援施設ゆりかご（1階）



担当:地域医療政策室
電話番号:0268-75-5463